

■社会福祉学専攻（博士前期課程）

秋季 春季

出願資格

一般 入学試験 (A方式) (春季のみ)	以下のいずれかを満たす者。 ①大学を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者。 ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を取得した者または2023年3月取得見込みの者。 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2023年3月修了見込みの者。 ④文部科学大臣の指定した者。 ⑤本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。(9～10ページ参照)
社会人 入学試験* (B-1方式) (春季のみ)	A方式の出願資格を満たし、かつ下記の要件を満たす者。 社会福祉の現場またはその関連領域において、入学時(4月1日)で通算2年以上常勤として社会福祉の専門職・教育職・その他勤務経験がある者(非現職者でも可)。
社会人 入学試験* (B-2方式) (春季のみ)	A方式の出願資格を満たし、かつ下記の要件をすべて満たす者(現職ソーシャルワーカーのみ)。 ①大学院修了までの期間を3年とすることに同意して入学する者(「現職ソーシャルワーカーのためのリカレント教育をサポートする」ためのコースを意味する)※入学時に3年制コースに在籍することの「同意書」を提出すること。 ②現在就労中の社会福祉の現場またはその関連領域において、入学時(4月1日)に通算3年以上、常勤として、社会福祉の専門職・教育職・その他勤務経験がある者(現職者に限る)。
推薦 入学試験* (C-1方式)	以下にあげる条件をすべて満たす者。 ①出願時において、本学社会福祉学科を卒業見込み、または社会福祉学科卒業後3年以内の者で、成績がGPA評価2.9以上の者(在学生については、秋季入試は3年次までのGPA、春季入試は4年次春学期までのGPA)。 ②「卒業論文」を現在履修しているか、あるいはその単位をすでに取得している者。 ③入学後に指導を希望する本学教員の所見書のある者。
推薦 入学試験* (C-2方式)	本学社会福祉学科・第二部社会学科を卒業後、社会福祉の現場またはその関連領域において、社会福祉の専門職・教育職・その他として入学時(4月1日)に通算3年以上の常勤として、あるいは、通算5年以上の非常勤・嘱託職員として勤務経験がある者(非現職者でも可)で、下記の①、②いずれかを満たし、入学後に指導を希望する本学教員の所見書のある者。 ①卒業論文を履修し、単位取得した者。 ②本学において「卒業論文」を履修しなかったが、卒業後、本学あるいは他大学大学院において領域を問わず修士号を取得した者。 ※3年制コースを希望する場合は、B-2方式で出願のこと。

▶入試制度と入試日程は2～3ページ参照。

※社会人入学試験、推薦入学試験で受験する場合、B-1、B-2、C-1、C-2のいずれかの方式を選択し、入学志願票①の選択方式詳細の所定欄を○で囲むこと。

試験科目

方式/時間	9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～
A方式	英語 (辞書使用不可)	論文	口述試験 (出願者全員)
B方式 (B-1)	—	論文	口述試験 (出願者全員)
B方式 (B-2)	—	論文	口述試験 (出願者全員)
C方式 (C-1)	—	—	口述試験※ (書類選考合格者)
C方式 (C-2)	—	—	口述試験※ (書類選考合格者)

※C-1、C-2方式の口述試験は、書類選考合格者のみを対象として行う。書類選考の可否の通知は受験票発送時に個別に送付する。

出願書類 (○ = 全員 ※ = 該当者のみ △ = 志願者の任意で送付可能な書類)

書類	内容・注意事項	入試方式				
		A	B		C	
			1	2	1	2
入学志願票①②	本学所定用紙、必要項目すべて記入して提出 ①：写真は、3ヵ月以内撮影、縦4cm×横3cm、裏面に氏名記入 ②：記載項目が少なくても必ず氏名を記入して提出	○	○	○	○	○
受験票・写真票	本学所定用紙、必要項目すべて記入、破線を切り取って提出 写真は、3ヵ月以内撮影、縦4cm×横3cm、裏面に氏名記入	○	○	○	○	○
卒業（見込）証明書	・ 出願書類受付日6ヵ月以内に発行されたもの ※外国の大学・大学院で発行される証明書については、発行日は問わない ・ 学部に編入し成績欄が「認定」になっているものはその成績を証明できる証明書を併せて提出すること ・ 推薦入学試験（C-1方式）を志願する者はGPA付の証明書を提出すること	○	○	○	○	○
成績証明書		○	○	○	○	○
入学志願者調書	本学所定用紙による論文等の書類	○	○	○	○	○
参考資料	学士論文以外に調査・研究報告・論文・著書等の業績がある場合は、主要な業績リストと実物3点以内（コピー可）を参考資料として提出を認める	△	△	△	△	△
所見書（注）	入学後に指導を希望する本学教員の所見書（書式自由、印鑑あるいはサインがあるもの）			○	○	○
在職証明書	本学所定用紙 出願書類受付日から過去6ヵ月以内に発行のもの 2ヵ所以上にわたる場合は必要な枚数を印刷して使用すること		○	○		○
検定料振込受付証明書	本学所定用紙（A票） 4ページ参照	○	○	○	○	○
戸籍抄本	婚姻等による改姓があった者のみ	※	※	※	※	※
追加書類 外国人出願者の	住民票または在留カード 住民票はコピー不可、住民票がない場合は在留カード（両面）のコピー	※	※	※	※	※
	日本語の学力を表す証明書 レベル「N1」の合格が記載された「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」コピー可 日本の大学を卒業（見込）した者は提出不要 ※春季試験の出願時点で上記証明書の提出が間に合わない場合は、共通事項5ページの「日本語の学力について」を確認すること	※	※	※		

- ▶ 出願は郵送に限る。出願書類受付期間最終日の消印有効。
- ▶ 本学所定の封筒貼付用紙に必要事項を記入のうえ市販の角2封筒（A4判用紙を折らずに封入できるサイズ）に貼り付けて使用し、「簡易書留・速達」便にて送付すること。
- ▶ 提出された出願書類は理由の如何を問わず返却しない。

(注) 希望する指導教員とまだ面識がない方、指導教員を誰にするか迷っている方、また未定の方等は専攻主任教授が相談を受けますので、秋季の受験者は8月19日(金)までに、春季の受験者は12月16日(金)までに、大学院事務局（白金校舎）に連絡してください。出願書類提出の前に、希望する指導教員との面談を終了しておくことを原則とします。希望する研究指導教員への連絡方法は大学院 Web サイト▷『入試情報』▷『よくあるお問い合わせ Q&A』を参照してください。なお、A方式・B方式で受験する場合は、希望指導教員が必ず指導できるとは限りません。